



一般社団法人 日本LD学会
Japan Academy of Learning Disabilities

会 報 第105号

【事務局】 〒108-0074 東京都港区高輪 3-24-18 高輪エンパイヤビル 8F
TEL 03-6721-6840 URL <http://www.jald.or.jp>

主な記事

- ・文部科学省平成30年度予算の概要
～発達障害を中心に～
- ・厚生労働省における平成30年度の発達障害者支援施策
- ・＜連続講座＞各地の発達障害者支援センターの取り組みPart II
- ・＜連続講座＞将来の自立を目指した、ライフステージを通じた支援
- ・公認心理師スタートにあたって
- ・PATIO～実践の最前線～



発達障害と視機能・視覚認知

大阪医科大学 LD センター

奥村 智人

日本では馴染みがないが、オプトメトリスト (optometrist) というビジョンケアを实践する専門職がある。オプトメトリストとは、日本では国家資格になっていない視機能・視覚認知の検査やトレーニングを行う専門家である。筆者は、1999年から2002年までアメリカの大学院に留学し、オプトメトリストの实践に関する学問、オプトメトリーを学んだ。日本以外の主要な国々でオプトメトリストは国家資格となっており、日常生活や学習、スポーツなどで「見る」ことはとても重要であることから、その存在意義はとても大きい。

近年、学習障害などの学習のつまずきの背景に視機能や視覚認知の問題があることが報告されるようになり、海外では視機能・視覚認知の検査の必要性が認識されるようになっている。また、欧米や、中国を中心としたアジア諸国におけるオプトメトリー制度の充実に伴った発達障害や高次脳機能障害における視覚分野の臨床の発展も見逃せ

ない。

日本でも、特別支援教育に関わる教師や専門家が学習につまずきのある子どもの見立てを行う際に、目の動きが悪い、視覚認知が弱いという説明や報告が当たり前のように行われるようになってきた。しかし、視覚の専門家により詳しい検査をしてもらおうと思っても、ほとんどの地域でオプトメトリストのような専門家はいない。また、研究の分野でも視覚に関する基礎研究や眼科領域の研究は日本から世界に向けて発信されているが、発達障害などの視機能・視覚認知の臨床研究において日本は不毛の地と言っても過言ではない。

日本LD学会の活動を通じて、教育における学習障害や発達障害における学習のつまずきに関する支援が広がりを見せる中、その周辺を埋める視機能・視覚認知分野の研究、専門家の養成や専門性の向上を通じ、学習障害など学習につまずきがある子どもたちに対してさらにレベルの高いチーム支援ができるよう努力していきたい。